

福岡県内の光化学オキシダントの濃度推移及び週末効果の地域的な違いについて

環境科学課 副田大介・中島亜矢子・辻井温子・島田友梨

第 64 回大気環境学会年会

福岡県内の Ox 濃度の経年的な濃度推移や週日から週末にかけての Ox 濃度の変化（週末効果）の違いにより地域の特徴を明らかにするため、福岡県内の大気常時監視データの解析を行った。

Ox の長期的な指標（日最高 8 時間値の年間 99 パーセンタイル値の 3 年移動平均値）を算出し、クラスター分析を行ったところ、県内の測定局は濃度推移に応じて 4 つのクラスターに分類された。

また、週末効果では、県内測定局を対象に週日と日曜それぞれで高濃度日における各種平均値を算出し、週日の濃度に対する日曜の濃度（日曜/週日比）を算出した。2016～2020 年度における Ox の昼間平均値はほとんどの地域で日曜に増加しており、週末効果の影響が確認された。しかし、 Ox 日最高 1 時間値の日曜/週日比は、地点によって増加及び減少を示すという異なる結果が得られた。これは、測定局のオゾン感度レジームの違いを表している可能性があると考えられた。